

## 会議の状況

令和4年度第4回青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会

1. 日 時 令和5年1月30日(月) 13:30~14:40

2. 場 所 東奥日報新町ビル 3階 催事場D

3. 出席委員 15名

4. 提出資料

資料1 原子力施設環境放射線調査報告書(案)(令和4年度第2四半期報)

資料2 原子力施設環境放射線調査報告書データ集(案)(令和4年度第2四半期報)

資料3 東通原子力発電所温排水影響調査結果報告書(案)(令和4年度第2四半期報)

資料4 環境放射線モニタリング計画の改訂に伴う線量算出方法の見直しについて

資料5 環境放射線モニタリング計画の改訂について

資料6 会議の状況

参考資料1 原子燃料サイクル事業の現在の状況について

参考資料2 東通原子力発電所の現在の状況について

参考資料3 リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

5. 概 要

(1) 議事

ア 原子力施設環境放射線調査結果について(令和4年度第2四半期)

(7) 原子燃料サイクル施設

県及び日本原燃(株)から資料1及び資料2により説明があり、次のとおり評価された。

- ・原子燃料サイクル施設に係る令和4年度第2四半期の環境放射線等調査結果は、これまでと同じ水準であった。原子燃料サイクル施設からの影響は認められなかった。

(4) 東通原子力発電所

県及び東北電力(株)から資料1及び資料2により説明があり、次のとおり評価された。

- ・東通原子力発電所に係る令和4年度第2四半期の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。東通原子力発電所からの影響は認められなかった。

(6) リサイクル燃料備蓄センター

県から資料1及び資料2により説明があり、次のとおり評価された。

- ・リサイクル燃料備蓄センターに係る令和4年度第2四半期の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。

委員から、ヒラメの組織自由水トリチウム分析について、原子燃料サイクル施設のモニタリング計画に追加した時期及び理由並びに当該分析項目を東通原子力発電所に含めていない理由について質問があり、県から、再処理施設において平常運転時に放出される(環境モニタリングで検出されるレベルの)トリチウムは内部被ばくの線量評価のために必要であり計画に追加していること、また、組織自由水トリチウム分析手法が測定法シリーズに掲載されたことを確認してから、モニタリングに追加している旨回答があった。

これに関連し、委員から、東通原子力発電所に係るトリチウムの放出状況について質問があり、事業者から、気体状のトリチウムについては、排気筒から連続的に放出され、いずれの四半期においても一定量確認されるのに対し、液体トリチウムについては、プラント状況に左右されるため、四半期によっては放出実績がないこともある旨回答があった。

また、委員から、福島原子力発電所事故後のモニタリングにおいて、青森県内でも海域及び陸域において放射性セシウムが確認されたことに鑑み、本年夏以降予定されている福島沖のトリチウムを含む処理水の海洋放出について、本県のモニタリング結果に影響を及ぼすことも考えられることから、モニタリング結果の評価については、海洋シミュレーション等の結果も踏まえて判断をしてほしい旨の発言があった。

#### イ 東通原子力発電所温排水影響調査結果について(令和4年度第2四半期)

県から資料3により説明があり、今後も引き続き調査を継続し、データの収集に努めていくこととした。また、当該調査報告書に係る記載について、過去の調査結果との対比ができるよう記載の変更を関係者と協議しており、協議した結果については、改めて評価委員会に報告することとされた。

#### ウ 原子力災害対策指針補足参考資料の改訂を踏まえた対応について

県から資料4により、線量算出方法について説明があり、了承された。

委員から、今回の線量算出方法の改訂に係る内部被ばくの線量算出方法について確認があり、県から、内部被ばくに係る線量の算出方法については、今回の改訂には含まれておらず、現在「測定結果に基づく線量算出要領」に定めている手法を継続して用いていく旨回答があった。

また、委員から、外部被ばくの線量算出方法を積算線量からNaIシンチレーション検出器による測定結果を用いた方法に切り替えるにあたり、値が変わってくるのが想定されるが、過去の測定値等を用いた比較をしていくのかとの質問があり、県から、令和5年度に積算線量測定は廃止されるが、現在、NaIシンチレーション検出器と積算線量を同じ場所に設置している地点が多数あり、それらの測定結果から比較可能となっている旨回答があった。

#### (2) 報告事項

県から資料5により、令和4年度第1回評価委員会から第3回評価委員会において審議された環境放射線モニタリング計画の改訂内容について、意見等を踏まえとりまとめ、令和4年度報の付として掲載することについて報告があった。

#### (3) その他

##### ア 原子燃料サイクル事業の現在の状況

日本原燃(株)から参考資料1により新規制基準への対応状況、各事業の運転状況等について説明があった他、トラブル等一覧について説明があった。

イ 東通原子力発電所の現在の状況

東北電力(株)から参考資料2により東通原子力発電所の運転状況等、新規制基準適合性審査の状況について説明があった。

ウ リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況

リサイクル燃料貯蔵(株)から参考資料3により新規制基準適合性審査の状況について説明があった。